

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【公表番号】特表2016-505617(P2016-505617A)

【公表日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-551659(P2015-551659)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/70 4 0 1

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/00

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトの発汗を抑制する組成物であって、

イノシトール 1 , 4 , 5 - 三リン酸受容体タイプ 2 (I T P R 2) メッセンジャー R N

A (mRNA) のレベルを低下させること、ITPR2 タンパク質のレベルを低下させること、ITPR2 カルシウムチャネル形成を低下させること、および ITPR2 カルシウムチャネル機能を低下させることの少なくとも 1 つが可能な化合物と、

任意の製薬上許容される担体および / または賦形剤とを含むことを特徴とする組成物。

【請求項 2】

前記組成物は、皮内注射またはイオントフォレーシスのためのものである請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記組成物は、全身投与のためのものである請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記組成物は、局所投与のためのものである請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記局所投与のための組成物は、クリーム、軟膏、スティック、エアロゾル、または液体である請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記組成物は、前記化合物の経皮送達のためのものである請求項 1 または 4 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記化合物は、ITPR2 mRNA を標的とする核酸分子またはその化学修飾された誘導体である請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記核酸分子は、ITPR2 mRNA のコード配列を標的とする RNA 分子である請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記 RNA 分子は、二本鎖 RNA 分子である請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記 RNA 分子は、分子干渉 RNA (siRNA) 分子である請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記 siRNA 分子は、配列識別番号 1 ~ 3 のいずれか一つの配列を有する請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記 RNA 分子は、配列識別番号 4 ~ 13 のいずれか一つに記載されている ITPR2 mRNA の配列を標的とする請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記 siRNA 分子は、ホスホロチオエート骨格および 2' - O - メチル置換基からなる群から選ばれる化学修飾を含有する請求項 10 または 11 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記製薬上許容される担体および / または賦形剤は、前記核酸分子の経皮送達を促進する化合物を含む請求項 7 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 15】

前記核酸の経皮送達を促進する化合物は、短い合成ペプチド、カチオン性リポソーム、脂質基質担体 (lipid-based carriers)、ポリアミドアミン、遺伝子ベクター、または溶解性マイクロニードルである請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

対象者の発汗を抑制する組成物であって、

請求項 1、7 ~ 13 のいずれか 1 項で定義された通りの化合物を含むことを特徴とする組成物。

【請求項 17】

前記対象者は、多汗症を患っている請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

対象者の発汗を抑制する薬剤の製造における請求項 1、7～13のいずれか 1 項で定義された通りの化合物の使用。

【請求項 19】

対象者の発汗を抑制する方法であって、前記対象者は発汗が正常または正常よりも少ない者であり、

請求項 1、7～13のいずれか 1 項で定義されている化合物を前記対象者に投与することを含み、

前記化合物は、発汗を抑制するのに効果的な量で存在することを特徴とする方法。

【請求項 20】

前記化合物は、汗腺の分泌部の側底細胞 (basolateral cells) に送達される請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

請求項 1～15のいずれか 1 項に記載の組成物を前記対象者に投与することを含む請求項 19 または 20 に記載の方法。

【請求項 22】

配列識別番号 1～3 の分子および配列識別番号 4～13 を標的とする siRNA 分子からなる群から選択される siRNA 分子。